

# 蘇通科技産業園（江蘇省南通市）

岡山県上海事務所 池田 稔

（日中経済貿易センター上海事務所 所長）

江蘇省南通市は、長江を隔てて上海の北側にあり、1980年代からアパレル産業をはじめ多くの日系企業が進出し、東レ、帝人、王子製紙などの大型プロジェクトもあります。以前は長江を船で渡らなければなりませんでした。2008年に開通した「蘇通大橋」によりグッと上海に近づきました。その「蘇通大橋」のたもとで開発中の「蘇通科技産業園区」を御紹介します。

## 開発に至る経緯

2008年11月、シンガポールで行われたシンガポール-江蘇省合作理事会第二回会議で、蘇州と南通の両市は共同でシンガポールと『合作開発意向書』を締結しました。また、中国-シンガポール蘇州工業園区の成功経験を踏まえ、シンガポールの先進的な計画開発理念と国際慣例に従う管理体制を導入し、蘇通科技産業園を蘇通大橋の北側に位置するハイテク型、エコ型、かつ総合的な、国際科学技術新区及び新ビジネスエリアとして建設することと決定しました。

## 産業園の特色

蘇通科技産業園は、急速な経済成長を遂げている長江デルタ地域における新興産業園区として、以下のような特色を有します。

- ・革新的な当局の政策及び人間本位の理念を徹底した行政サービス
- ・先進的な園区計画

- ・独特な地域的優位性
- ・完備されたインフラストラクチャー
- ・充実した人材の蓄積
- ・快適な生活環境

蘇通大橋の開通により、蘇通科技産業園から上海、蘇州、無錫、常州等主要都市までの所要時間は、自動車で2時間以内に短縮されました。

さらに、蘇通科技産業園では、シンガポールの管理体制を導入し「効率的・透明・公平・規範的」な政府サービス体系を作り上げるとともに、国家級開発区の審査承認権限を有するワンストップサービスセンターで、審査承認、各種行政手続きが迅速で効率よく行われます。

江蘇省と南通市政府は蘇通科技産業園を重視しており、優遇政策の面では、伝統的な産業園区と比べ、より魅力的な政府優遇政策を与えており、財政支援、企業が利用できる土地も多く、プロジェクトの審査承認等の恩典享受により、企業は効果的に運営コストを削減することができます。

人的資源の面では、南通市は豊かな人的資源があり、基礎教育は全国のトップクラスにあり、大学への高い進学率を保っています。2010年10月末現在、労働人口は530万人近くあり、その内、20~44歳の人口は300万人に達しています。

## 誘致業種等

既に蘇通科技産業園に日系企業の進出が始まっており、広島県の自動車部品製造会社などが進出しており、その他にもいくつかの日本企業

